

駿府城天守台の発掘現場です。ー歴史部臨研ー

8月16日～8月17日、静岡に行きました。茨城県高校教育研究会歴史部の臨地研究会です。この歴史部は、県内高校の歴史教員の研究会です。私は、今年度から部長をつとめています。また、本校の豊崎先生と石本先生は事務局を担当してくれています。

今回の臨研のコースは、1日目「掛川城→諏訪原城跡→大井川川越遺跡・島田市博物館→清見寺」、2日目「駿府城→日本平→久能山東照宮→登呂遺跡」でした。

特に、印象に残ったのは、徳川家康が築城した駿府城（すんぷじょう）の天守台発掘現場でした。下の写真にあるように、もの凄い発掘が進行中でした。私は、大学時代に考古学を専攻し、縄文時代の遺跡や古墳の発掘調査などをしていましたが、こんな大規模な発掘は、初めて見ました。この駿府城天守閣の天守台は、底部で68m×61mもあり、江戸城天守台より大きく、日本一の規模になるそうです。

発掘調査は、2020年2月まで実施されるそうですので、お城好きの方は、ぜひ見学に行ってください。駿府城は、JR静岡駅より徒歩15分。発掘現場は、入場無料です。

